

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第2区分
 【発行日】平成17年8月4日(2005.8.4)

【公開番号】特開2004-45481(P2004-45481A)
 【公開日】平成16年2月12日(2004.2.12)
 【年通号数】公開・登録公報2004-006
 【出願番号】特願2002-199611(P2002-199611)
 【国際特許分類第7版】

G 0 3 G 15/08

G 0 3 G 21/10

【F I】

G 0 3 G 15/08 5 0 7 C

G 0 3 G 21/00 3 2 6

【手続補正書】

【提出日】平成16年12月24日(2004.12.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】画像形成装置におけるクリーニング方法及び劣化トナー排出方法

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

感光体、帯電装置、静電潜像書き込み装置、現像装置、転写装置及びクリーニング装置を有する画像形成装置において、
 前記帯電装置により前記感光体を帯電し、
 前記静電潜像書き込み装置により前記帯電した感光体に所定のパターンの静電潜像を書き込み、
 前記現像装置からトナーを前記感光体に供給して現像し、
 前記転写装置に前記トナーが転写されないバイアスの電圧を維持し、
 前記クリーニング装置を経由してトナーが収納されるカートリッジと一体に形成された排トナー容器に排トナーを収納することを特徴とするクリーニング方法。

【請求項2】

感光体、帯電装置、静電潜像書き込み装置、現像装置、転写装置及びクリーニング装置を有する画像形成装置において、
 前記帯電装置により前記感光体を帯電し、
 前記静電潜像書き込み装置により前記帯電した感光体に、所定の印刷量における設定デュティと該所定の印刷量における印刷デュティの差分量に対応した所定のパターンの静電潜像を書き込み、
 前記現像装置からトナーを前記感光体に供給して現像するクリーニング方法。

【請求項3】

請求項1又は2記載のクリーニング方法において、前記静電潜像パターンは印刷エリア中央より印刷エリア端部の印刷デュティが大きいことを特徴とするクリーニング方法。

【請求項 4】

感光体、帯電装置、静電潜像書き込み装置、現像装置を有する画像形成装置において、記録紙への印刷が終了した後、記録紙への印刷を供しない状態で、前記帯電装置により前記感光体を帯電し、前記静電潜像書き込み装置により前記帯電した感光体に所定のパターンの静電潜像を書き込み、前記現像装置からトナーを前記感光体に供給して現像することを特徴とする劣化トナー排出方法。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明はまた、感光体、帯電装置、静電潜像書き込み装置、現像装置を有する画像形成装置において、記録紙への印刷が終了した後、記録紙への印刷を供しない状態で、前記帯電装置により前記感光体を帯電し、前記静電潜像書き込み装置により前記帯電した感光体に所定のパターンの静電潜像を書き込み、前記現像装置からトナーを前記感光体に供給して現像することを特徴とする劣化トナー排出方法である。